

1 単元名 育ちゆく体とわたし（体の発育・発達）

2 授業づくりの構想

（1）教材の特性

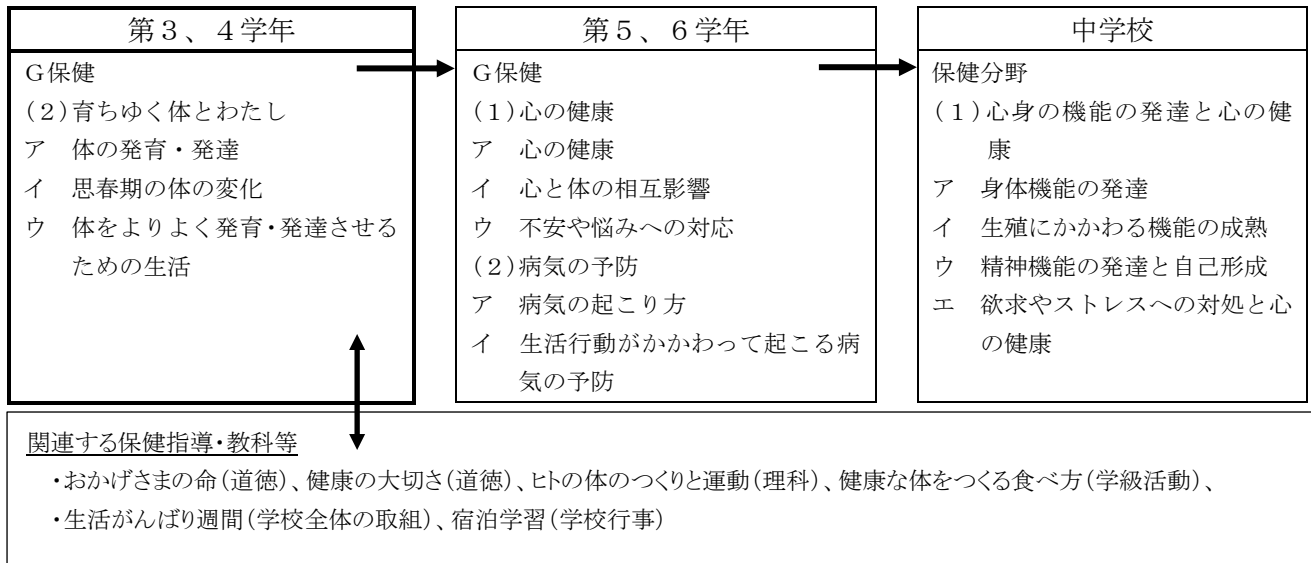
近年、児童の体の発育・発達が早期化しており、体の形態的・機能的変化が顕著になる時期が早く訪れる児童も見られるようになってきている。さらに、この時期の児童は、自分や友達の体の変化について、関心を持ったりとまどいを持ち始めたりするようになる。また、異性への関心が高まるなど、心の変化が見られ始めるようになる。

これら思春期を迎えようとしているこの時期の児童は、体の発育・発達にともなっておこる心身の変化に不安や疑問を抱き、最も身近な問題として関心を占めるようになる。こうした不安や疑問を持つ児童に、体の発育・発達や異性への関心の芽生えについて正しく理解させ、知識を身につけることが大切である。

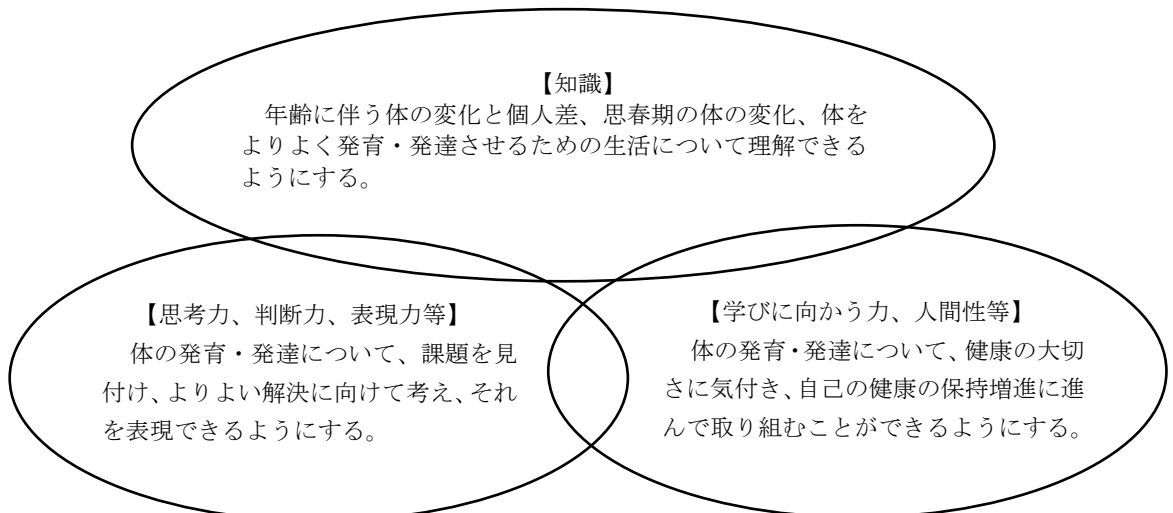
（2）児童の実態

- 男子18名、女子13名。
- 体格は、男子は市平均に比べ、身長体重ともにやや上回っている。女子はやや痩せ気味の傾向にある。
- 男女の仲が良く、一緒にドッジボールをしたりオルガン弾いたりして楽しむ姿が見られる。一方で、単に「集まる」「輪になる」というときには、男女が分かれた状態になることが多い。（性の違いを意識）
- ほぼ全員が朝食を食べて登校している。
- 就寝時刻が遅くなりがちで、十分な睡眠時間が確保できていない児童もいる。
- 全体的に、マスクの着用率・ハンカチの携帯率が高く、また、要所で手洗いをきちんとするなど、健康に気をつけて（規則を守って）生活している児童が多い。

（3）学習内容の系統性



（4）単元目標



(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

- ・第3学年「毎日の生活とけんこう」との系統性を考慮し、さらに、他の教科・教科外の学習と関連を持たせながら指導にあたる。
- ・体や心の変化について学ぶことで自分のイメージする素敵な大人の姿を想起させ、そのためにどのように過ごせばよいのかという視点を明確にしながら学習を進めていきたい。
- ・体の発育・発達には個人差があることを十分留意させ、自他の成長の仕方の違いにしっかりと目を向けられるようにするとともに、互いを尊重し合う気持ちを持たせたい。
- ・二次性徴による体の変化は、初めて耳にする言葉や現象である児童がほとんどであり、不安や恥ずかしさを感じたりすることが予想される。養護教諭の専門性を生かしながら学習を進めることで、それらの不安や恥ずかしさを取り除けるよう、連携を図っていきたい。
- ・多くの児童が、よりよい発育・発達には食事・休養・運動が大切であることを理解している。しかし、実際の生活と結びついておらず、自らよりよい行動をしようという思いも感じられにくい。自分の生活実態をカードに記し、知識と生活（技能）を結び付けられるようにしたい。

(6) 単元の流れ及び評価の計画

時		1	2	3	4（本時）
主なねらい		体の発育・発達については、身長、体重などを適宜取り上げ、これらは年齢に伴って変化することを理解するとともに、体の変化には個人差があることを理解する。	思春期には体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が表れること、また、初経、精通、変声、発毛が起こり、これらは早い遅いがあるものの、だれにも起こる、大人に近づく現象であることを理解する。	思春期には、早い遅いがあるものの、だれにでも心に変化が起こり、異性への関心が芽生えることを理解する。	体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、多くの種類の食品をとることができるような調和のとれた食事、体の発育・発達により適切な運動、休養及び睡眠などが必要であることを理解する。
学習活動		○1年生から4年生までの身長と体重の伸びを調べ、変わり方について考える。 ○身長や体重のどのように変化しているか考える。	○体つきの変化について考える。 ○体の中の変化について考える。 ○大人になるにつれて起こる体の変化についてまとめる。	○異性への関心の表れ方について考える。 ○異性への関わり方について考える。 ○大人になるにつれて起こる心の変化についてまとめる	○食事・運動・休養や睡眠と体の発育・発達との関係について考える。 ○自分の生活をふり返りこれからの生活について考える。 ○単元を通してふり返り、実践化への意欲を持つ。
評価の計画	知・技	①			②
	思・判・表		①		②
	主	①		②	

具体的な評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 体の発育・発達や思春期の体や心の変化について、理解したことを書いたり発表したりしている。	① 体の発育・成達は思春期の体や心の変化について、教科書や友達、先生の話をもとに、課題や解決の方法を見つけたリ、選んだりするなどして、自分の考えを説明している。	①育ちゆく体とわたし」の体の発育について、教科書や健康の記録を見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。
	② 体のよりよい発育・発達について、理解したことを書いたり発表したりしている。	② 体のよりよい発育・発達に向けて、教科書や自己の生活ががんばりカードや友達や先生の話をもとに、生活課題の解決方法を選んだり見つけたリして、それらを説明している。	②思春期の体や心の変化や体のよりよい発育に向けて、教科書や資料などを見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。

3 本時の学習（4／4）

（1） 目標

○体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることを理解できるようにする。【知識】

○体のよりよい発育・発達に向けて、自己の生活から見つけた課題に対して、その解決に向けて適切な方法を考え、言葉に表したり友達に伝えたりすることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

○自分の生活をふり振り返りながら、自己の体のよりよい発育・発達のために大切なことを考え、取り組むことができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

（2） 準備 ワークシート、教師用ホワイトボード、パソコン、大型テレビ

（3） 展開

学習活動と予想される児童の反応		○指導上の留意点・支援 ★評価（方法）
1 体がよりよく発育・発達させるためには、どんなことが大切か考える。 あらかじめワークシートに心がけていることを書いておき、発表する。 好ききらいせずに食べています。 大きく3つに分けられそうだね。 運動 ・睡眠・休養 ・食事 部活動がんばっています。 早ね早起きをしています。		○「体のよりよい発育・発達」が大きなテーマであることを知らせ、体をよりよく発育・発達させるために、具体的に心がけていることについて発表させる。 ○それぞれが心がけていることを集約しながら提示することで、大きく3つに分けられることに気づかせる。 ○「心がけていることがない」という児童も予想される。今後の自分のあるべき姿をイメージできるよう、友達の発表をしっかりと聞かせる。
2 自分の生活をふり振り返り、体をよりよく発育・発達させるためという視点で自己の健康に関する問題点について考えていくことを確かめ、本時の学習課題を確認する。 体をよりよく発育させるために、自分にとって大切なことは何かを考え、行動に結びつけていけるようにしよう。 自分の生活において、体のよりよい発育・発達のために改善せねばならないもの（こと、行動など）は何か考え、自分自身の課題としてとらえワークシートに書く。		○自分自身の体をよりよく発育・発達させるために、自分の生活で問題になるのは何かを考えさせる。 ○3つの視点の中から、より具体的に自分自身の課題を明確にできるよう助言する。 「わたしの課題は○○です。～なところがある（～な生活をしている）からです。」 ○自分の課題を見つけるのが難しい児童には、運動・食事・睡眠や休養のどれがよくなればいいのかという視点で、3つの中から選ぶようにさせる。 「わたしの課題は○○です。」
3 自分の課題について、それが改善されると（できるようになると、よくなると）自己の体の発育・発達にどんな効果があるのか考える。 運動・食事・睡眠を大切にした生活ができると、体にどのような効果があるかゲストティーチャーの話を聞き、ワークシートにまとめる。 ○バランスのよい食事・・・給食主任（福田） ・熱や力のもとになる・体を作るもとになる・体の調子を整える ○適切な運動・・・教務主任（伊藤…元体プロリーダー、体育部員） ・心臓や肺の働きがよくなる・筋肉が発達し、骨がじょうぶになる ・病気にかかりにくい ○適切な休養・すいみん・・・養護教諭（八木） ・つかれがとれる・集中できる・気持ちが落ち着く 給食は栄養のバランスを考えて作られているんだね。 買い物や掃除なども運動になるんだね。 ゆっくり休むと勉強も集中して取り組めるんだね。		○G Tは新教科書 P29～31 を中心に、体の発育・発達に軸足を置いたミニ講座を行い、そこでの学びをワークシートにまとめさせる。 ○自らの気づきや分かったことなどを、後で確認することを知らせておく。 ○机間巡視をしながら、まとめる内容について個別に指導する。 ○自分の課題に対する答え（どのように行動していくか）が、この時点でおおよそ見つかるようにしておきたい。
4 自分の生活に必要なこと（生活の中で気をつけたいことや、今後取り組んでいきたいこと）は何か考え、「すすく宣言」としてワークシートに書き発表する。 今だけでなく、将来の自分の姿を思い浮かべながら考えよう。 早くねるようにしたい。帰ったらすぐに宿題をすませる。 給食を残さず食べるようにしたい。少しずつでもがんばって食べる。 休憩時間に外で体を動かすようにしたい。ドッジボールやおにごっこをする。		○3つの場で学んだことを、全体で共有する。 ○教科書のまとめの文章を全員で読み、適度な運動・バランスのとれた食事・じゅうぶんな睡眠や休養の大切さについて改めて確認させる。 ○体のよりよい発育・発達に向けて、どんな生活をすればよいか、自己の課題と具体的な生活の場面をイメージさせ、関連づけて考えさせる。 ★体のよりよい発育・発達に向けて、自己の生活から見つけた課題に対して、その解決に向けて適切な方法を考え、友達に説明している。 【思考・判断・表現】（ワークシート、発言） ○すすく宣言を、グループ内で発表させる。 ○全体場で数名発表させ、多様な考えがあることを捉えさせる。

